

2200 | 絵画空間論

2 単位 (通信授業 2 単位)

重政啓治教授、永井研治教授、小森琢己講師、清水健太郎講師

授業の概要と目標

絵画として、表現される画面には、さまざまな表情がある。その表情のひとつとして「絵画空間」は存在する。そのことを知るために、作品の鑑賞を通し、画面分析と自己の考えをまとめることを目的にする。導入としては、西洋と東洋の絵画空間の変遷を通し、画面にはどのような空間が存在し、その空間がどのような役割や効果を生んでいるのか考察しながら追求して行く。

課題の概要

○通信授業課題 1

選択した作品に於ける画面の成り立ちを分析する。

好きな作品、あるいは興味のある様々な作品、例えばラスコーの壁画が描かれた時代から 20 世紀初頭までの絵画と言われる作品を 2 点選択し、その作品の画面がどのような空間の処理がされているかを考察し、レポートにまとめる課題。

○通信授業課題 2

自己の絵画空間論について述べる。

平面絵画に現れる絵画空間について、自己の考え方や自己が理想とする空間をレポートにまとめる課題。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

教科書を通読した上で、通信授業課題 1、2 に取り組むこと。

成績評価の方法

○ 科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：堀内貞明、永井研治、重政啓治『絵画空間を考える』（武蔵野美術大学出版局 2010 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）